

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2022年度第4回短期大学会議教育改革ICT運営委員会議事録

- I. 日時 令和4年11月4日(金)18:00~20:00  
場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 戸高委員長、三田委員、西岡委員、後藤委員、大重委員、治京委員、早坂委員  
及川先生(山野美容理容短期大学)、深町先生(和泉短期大学)、衛藤先生(別府大学短期大学部)  
(事務局 井端事務局長、中村、山田)

III. 検討事項

1. コンソーシアム活動の進捗状況の確認について

(1) 高齢者支援事業 (2 短期大学の協同による事業活動の内容と事業日程等)

- ① 2022年度も「ICTを活用した異世代交流地域貢献事業」を両短期大学や学外の社会人ネットワークを生かして実施する予定にしている。高齢者の社会人ネットワークの方々と交流する際に、学生はICT活用して異世代の社会人にインタビューした動画を編集して紹介し、それについて意見交換を行う体験を計画している。
- ② 前期5月から7月は、両短期大学の学生同士で動画制作の練習を行う。そこで培ったスキルを活用して、後期11月頃から学生が高齢者にインタビューし、それを基に動画を制作し、発表することを検討している。
- ③ 後期の進め方としては、対面で10月1日(土)にプロの映画監督から、10時~13時動画作りの基礎、14時~16時に高齢者にインタビューの練習と本番を行う。参加者は、実践5名、山野15名、異世代者6名で6つのグループに分かれてインタビューする。  
以下に、午後の部の進め方の詳細として、  
14:00-14:30・・・インタビュー動画についてのレクチャー(山崎達壘先生)  
14:30-15:00・・・インタビューの内容をグループで考える  
15:00-16:00・・・高齢者へのインタビューその他  
身内とは違う、ふだん接することのない高齢者に聞きたいテーマを話し合う。
- ④ 動画編集について映画監督からアドバイスをZoomで10月31日(月)18~19時、11月7日(月)18~19時に受ける。
- ⑤ 完成動画(ファイル名:グループ〇の〇〇さんインタビュー)をYouTubeのリスト表示にして、異世代の方に事前に見ていただく。
- ⑥ 11月14日(月)18時半から19時に、完成動画を踏まえてzoomで異世代交流行う。

(2) 地域価値発見事業 (3 短期大学の協同による事業活動の内容と事業日程等)

- ① 前回委員会で概要が報告された「真珠コンテスト」の名称と活動目標について検討した結果、協同化の中で地域価値の発見・創生を行うことを目標としている観点からすると、コンテストは参加短期大学間の差別化につながることで、コンテストによる商品開発が目標ではなく、3短期大学と自治体が参加する意見交流による企画案の発表がゴールとなること、本協会事業の枠組みから逸脱しないようにすることを確認し、事業名を「真珠価値探求プロジェクト」に改めることとした。なお、各校のプロジェクトの内容が商品開発等に進展する経緯などは、コンソーシアムの中で報告していくことを確認した。
- ② 試行時期は、前回7回を予定していたが、以下の6回に変更することとした。
- \* 1回 令和4年 11月10日 オンライン(Zoom)で繋がる
  - \* 2回 12月15日 お互いを知る
  - \* 3回 令和5年 1月12日 アコヤ真珠及び貝殻を調べる、フリートーキング
  - \* 4回 1月26日 テーマを決める、フリートーキング
  - \* 5回 3月2日 発表会
  - \* 6回 3月9日 総括、次年度につなげる
- ③ 11月10日の開催日前に、説明動画、説明スライドをClassroomに掲載する。その際、規格外のアコヤ真珠及び貝殻を理解できるよう別動画を作成し、紹介する。  
学生の紹介動画を作ることに抵抗を持つ学生もいるので、Zoomで発信、またはClassroomに学生の声を文字化などすることにし、学生の声を交流させるようにすることにした。
- ④ 毎回、オンラインZoomで開催する。なお、当日に参加できない学生にはオンライン開催のオンデマンド配信をプラットフォーム上で行うことにした。また、12月15日に向けて学生同士による動画の事前共有を行えるよう可能な範囲で、学校紹介、郷土を紹介するクイズなど音声を入れる動画、パワーポイント、Classroomでアップロードする説明動画とした。

⑤ 開催 10 日以内に Google フォームでアンケートをとり、確認することにした。

## 2. ホームページ公開について（事務局より報告）

### ① 高齢者支援事業

前回の委員会で 2021 年度の活動報告に追加することになった参加学生からの感想を以下のようにプラットフォームに掲載したことが報告された。

- \* 異世代の方と話すと同世代の方と話すよりも気を使うので、コミュニケーション能力が高まると感じたため、異世代の方とコミュニケーションを取るの大切なんだなと感じました。日頃から異世代の方とのコミュニケーションを取れるよう心がけたいと思いました。自分のコミュニケーション能力、異世代の方の意見は私では考えられないような言葉が出てくるので吸収できる。
- \* 人生の先輩にあたる異世代の方からこれからのアドバイスをたくさん頂きました。温かい言葉をかけてくださったので何か特別なことが無い自分でも自信を持つことができました。
- \* グループの会話の中で沈黙が起きたときに、話しはじめたいけれどその勇気がなかったことが多かったので、会話を盛り上げるためにも会話力やコミュニケーション力を高めたいと思いました。
- \* 回を追うごとに、異世代の方に質問やお話がたくさんできるようになったのは自分でも大きな成長でした。
- \* 他校の同世代の人と ZOOM 上で話し合うという、なかなかできない体験を通じて初対面の人にも臆せず自分の発表をすることができたと感じる。
- \* 他の世代の方と私たちとでは時代が違い、今の話をしてもそれって何？となるためそれをいかにわかりやすく説明しようか頭をフル回転させました。他世代の方と話す機会が普段はないので、他世代の方と話すコミュニケーション能力が高まった気がします。
- \* 自分から話すことが苦手な続けられるか不安でしたが、最後の方には「もっと話したい！話し足りない！」と思えるくらいまで成長できました。また異世代の方がたくさんお話をしてくださるので、常に頷いたり反応したりできました。前よりも聞き上手になれたと思います。
- \* この活動に参加しなければ出会えなかった、実践女子大学のみなさんや異世代の方と交流できたこと、いい経験になりました。
- \* 自分が思っていることを話していても、相手にはあまり上手く伝わっていないことがある。対面ではないので、スライドと語彙力と、表情を上手く使わないと相手には自分の気持ちが伝わらないのだなと思い、自分の表現力のなさにショックを受けました。

### ② 地域価値発見支援事業

前回の委員会で指摘の部分について、修正されていることが報告された。

## 3. その他(今後の日程)

今回は、令和 5 年 3 月 18 日(土)午前 10 時に開催し、活動結果の報告と次年度への改善を中心に検討することにした。